



創立70周年記念誌

肝高

沖縄県立 前原高等学校



創立
2015

70周年
前原高校



創立 70 周年記念誌

きむたか



平成 28 年 3 月
沖縄県立前原高等学校

発刊にあたって

校長 上原 昇

前原高等学校創立 70 周年記念誌を発刊するにあたりご挨拶申し上げます。

前原高等学校は、戦後の混乱と窮乏のなか、1945 年 11 月 12 日に難民収容所で産声を上げました。以来、草創期の苦難を乗り越え、諸先輩方のご尽力によって県下でも有数の学校に発展しました。昭和 50 年代には生徒数の適正規模化を図るため、与勝高校や具志川高校ができ、前原高校は三分割される形となりましたが、現在に至るまで、「肝高精神」は脈々と受け継がれ、勉学やスポーツに数々の実績を残しております。これもひとえに、PTA、同窓生、地域の皆様のご支援とご協力のもと、生徒、職員が「教学一如」の精神で学校の発展に打ち込んだ成果だと感謝申し上げます。

この記念誌には、70 周年記念事業の取組と歴代校長や PTA 会長の回顧、現役生徒の活動報告等が掲載されており、過去十年の教職員、生徒氏名一覧が収録されています。また、草創期の先輩方の営為を忘れないよう当時の座談会と沿革も特別収録いたしました。

記念誌は、時代の変遷を知るよすがであり、青春の証であり、将来への指針となる貴重な資料であります。どうかご一読ください手元に置いていただければと存じます。

最後に、お忙しい中、玉稿をお寄せいただきました同窓生、旧職員、PTA のみなさまに感謝申し上げると共に、記念誌の編集にあたられた委員の方々に深甚なる敬意を表し、発刊のことばとします。

CONTENTS

❖ 記念誌 目次 ❖

発刊にあたって	校長 上原 昇
記念式典	6
記念祝賀会	8
記念フォーラム	12
折り鶴アート	14
記念事業その他	15
70周年記念贈呈	16
あいさつ	
式 辞	校長 上原 昇 18
母校に対する愛情の深さ	記念事業推進委員会会長(PTA会長) 比嘉 勝 20
歴史と伝統の継承	生徒会長 知念 優衣 21
母校はこの世に一つ～ホームカミングデーの継続を～	同窓会会长 大城 順子 22
祝 辞	沖縄県教育委員会 教育長 諸見里 明 23
祝 辞	うるま市長 島袋 俊夫 24
象徴	
校章・胸章・校旗	26
教育目標	27
校歌	28
制服	29
記念碑	30
現職員	32
歴代校長・歴代PTA会長	36
沿革	
創立から60年のあゆみ	40
創立60周年から10年のあゆみ	46
思い出	
有終の美を母校で迎えて	第21代校長 大城 順子 60
私と『前原』	第22代・第24代校長 具志堅 侃 64
名門校復活を目指して	第23代校長 喜納 武信 66
私の思う学校を変えた取り組み	第19代PTA会長 具志川 光彦 68
子供達にバンザイ	第20代PTA会長 大野 紘詩 69

「制服の改定」への道のり	旧職員	平山政明	70
前高復活の10年	本校職員	田村正人(36期生)	71
「一期一会」の協働で前進	旧職員	運天直樹	72
「チーム前原」と共に走る ~県新記録 40年ぶり優勝~	陸上部	山城興平(70期生)	74
「信じること」~三冠達成~	サッカー部	田里駿(70期生)	75
前原の名を全国へ	空手部	前堂大樹(69期生)	76
歴史はあるものではなく、自分達でつくるもの	空手部	伊藤大賀(70期生)	76
「歴史を作ろう」を空手部の合言葉に	空手部	玉城大護(70期生)	77
私を成長させた生徒会活動	平成26年度生徒会副会長	外間杏佳	78

幾星霜

2005年度～2015年度	82
美ら島総体(2010年度) 全国高校総合体育大会 沖縄県開催	104
研修旅行	106

栄光の軌跡

思い出の作品	116
--------	-----

資料編

校舎、教室配置図(平成27年度)	122
卒業生数一覧	123
過去10ヵ年における前原高校の勤怠状況の推移	124
職員一覧(過去10年)	125
湛水講演会(講師一覧)	128
創立70周年記念事業経過報告	130
創立70周年記念事業推進委員会会則	132
創立70周年記念事業推進委員会組織図	135
創立70周年記念事業募金趣意書	136
感謝状授与対象者／高額寄付者一覧	137

座談会あんやたん…かんやたん

歴代会長語る(20周年記念誌より抜粋)	138
---------------------	-----

創立70周年記念チャリティ 山田健バリトノリサイタル	142
----------------------------	-----

卒業生名簿

編集後記	164
------	-----

❖❖❖記念式典❖❖❖



比嘉勝記念事業推進委員長あいさつ



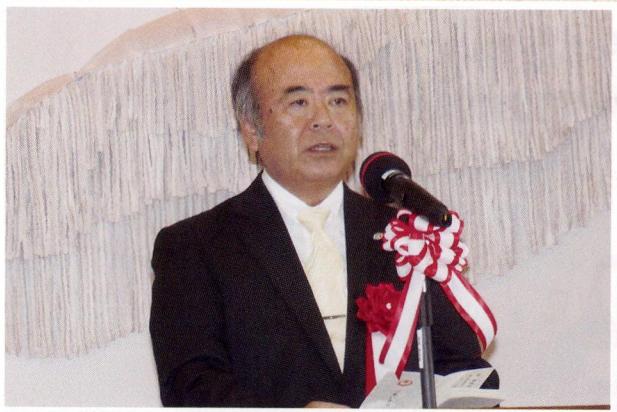
式辞を述べる上原昇学校長



来賓・同窓の方々



校長 PTA会長・教頭・事務長



祝辞をのべる県立学校教育課課長 与那嶺善道



大城順子同窓会長あいさつ



祝辞を述べる
島袋俊夫うるま市長



受賞者代表あいさつを
述べる具志川光彦
元 PTA 会長



生徒会長あいさつ知念優衣



感謝状を受け取る
津嘉山るり子先生



開会・閉会を述べる玉城学教頭



司会の
宮里篤先生

❖❖❖ 記念祝賀会 ❖❖❖



同窓生による幕開け



司会の
喜納育子さん

開会のことばを述べる
高平兼司 PTA 副会長



乾杯を述べる具志堅侃元校長



かつしん太鼓の演舞



かつしん太鼓の演舞の3年大城幹也



合唱部OBの伴奏



合唱部OBによる美しい歌声



1期生2期生の大先輩



PTAの方々

ぐすーじさびら

今日の酒はかくべつ



空手部の力強い演舞



空手部 1年金城魁君



空手部顧問の田村先生



幕開けを演奏した同窓の方々



教頭・PTAの方々



昔にタイムスリップ
ピース



前原No.1
オンリー1



謝辞を述べる上原昇校長



乾杯 同窓生



歴代校長・ご来賓の方々



閉会のことばを述べる
PTA副会長の吉本さん



吹奏楽部の生徒達



名門復活～～!

♦♦♦記念フォーラム♦♦♦



コーディネーター 真栄平 仁氏 (42期生)





「失敗恐れず挑戦して」のエールを送る卒業生パネリスト

❖❖❖ 折り鶴アート ❖❖❖



折り鶴（新聞掲載）



次世代へつなぐ
希望の翼

一羽一羽に感謝の思いをこめて

◆◆◆記念事業その他◆◆◆



記念ポロシャツ



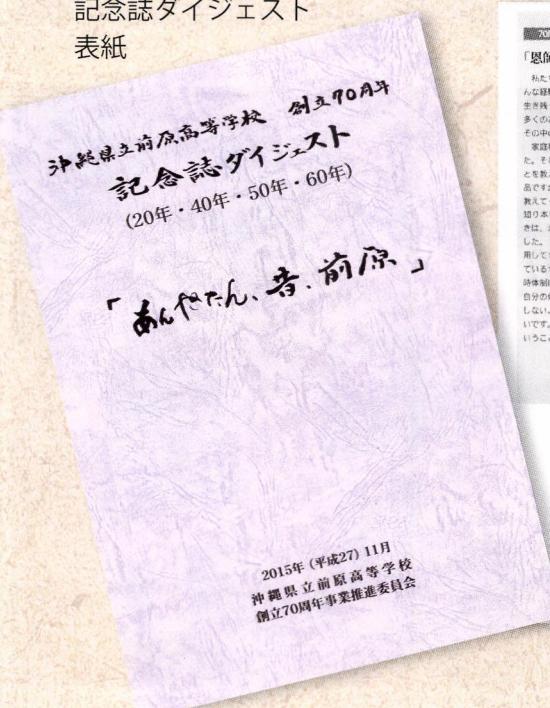
資金造成ボーリング



記念タオル



資金造成うるま市祭りバザー



3



70周年「皆、前原」その4

「学校は軍用兵隊から提供?」 1946年 昭和21年

高校(ハイスクール)がたのことをさりげなくて、昭和から生徒が廻西了。アーティストの原田辰也によると、今は合ひなくなつた。そこへ、当時農業技術院は「あそび工具部」から農業を学んでいたので、農業部を設立したいといふ申し入れがあつた。この農業部は兵庫ハイスクールか天神橋駅通じる農園用器具などを設置した部屋である。学校に通うかうかヒット兵舎や大きな農場、食事、会議室、浴場、施設、水道設備など完備だ。すでに学校として運営するところだ。當時しては、農業技術院は、農業を専門とする高等教育機関の総称が通じる。1946年3月、兵庫が開校した。農業部の生徒は、農村連盟の方針で、1947年3月、「農業部」の名前を改めた。



5

「授業・教科書・卒業」 1946年～50年 昭和21～25年

学校を経て就職活動始めたといったらもう戦後の「湿润した時代」で辺りの活気は温かみと潤滑感に満ちていた感じがしたからだ。教科書、教諭などなく、すべて手作りの手元、経済と工夫に任されていた。おおむね、教科書の購入費と修繕費に割いて買き、食糧や器具の備蓄も必要なところからながながに専門性を得意する状態ではなかった。それどころか1946年6月に卒業させられている。彼らは、中高一貫で高校女高女校なら旧制中学の3年生で卒学していたので、高等師範学校等の4年生（直立時はまだ6・7・3・3が解説されてない）に入試され、4年で卒業が認められた。同じく、旧制中学や師範学校の2年生で卒年で学習していた生徒は、3年間に入学して、半年で卒業してしまったのである。ちなみに、戦後の中高一貫教育は「6・3・3」が実行されたのは



記念誌ダイジェスト由身

❖❖❖ 70周年記念贈呈 ❖❖❖

